



発行所 公益社団法人 高知県診療放射線技師会
発行人 会長 巴 昭彦
事務局 〒780-0850
高知市丸ノ内1丁目7番45号
総合あんしんセンター2階
TEL・FAX 088-872-4585

所 感

『東京オリンピック2020』

中央西地区理事 萩野孝弥

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けて、開催が危ぶまれた東京オリンピック2020が1年延期という形で無事に開催されていると思います。延期となったオリンピックは今回が初めてで、中止となったのは夏季に3回、冬季に2回の計5回で中止の理由は全て戦争が原因とのこと。調べてみると1916年ベルリンオリンピック(夏季)は第一次世界大戦、1940年東京(夏季)と札幌(冬季)オリンピックは日中戦争、1944年ロンドン(夏季)とコルティナー・ダンペッツォ(冬季)は第二次世界大戦により中止となりました。

開催か中止か延期かと関係者同士で話し合われていた当初、私は開催によりこれ以上新型コロナウイルスによる感染者が増える可能性があるのはいかなるものかという思いから反対派でした。しかし死に物狂いで頑張ってきた選手達の活躍の場を奪うということを考えると、開催も致し方無いと思います。今となってはテレビの前で日本選手団を応援したいと思いません。

頑張れ、日本！！！！

会の動き

令和3年度 第4回常務理事会

7月6日(火)、総合あんしんセンターにて第4回常務理事会を開催した。

お知らせ

告示研修(基礎研修)のお知らせ

大野貴史

日本診療放射線技師会のホームページに告示研修(基礎研修)のお知らせが掲載されました。医師のタスク・シフト/シェアを推進することから、診療放射線技師の業務を拡大するための法改正がおこなわれました。これにより、診療放射線技師の資格を有する者は、厚生労働大臣が指定する研修(以下、告示研修)を受けることが義務付けられています。告示研修は、「基礎研修(e-ラーニング)」と実技研修(会場型)から成り、実技研修を受講するためには、基礎研修の修了(e-ラーニングの受講および確認テストの合格)が条件となります。

JART ホームページ会員システムログイン方法は、



- ① 日本診療放射線技師会のホームページを開く
- ② JART 情報システム → 「ログインはこちらから」 をクリック
- ③ JART 情報システムログイン画面になりますので、必要情報を入力

JART情報システムログイン

こちらから日本放射線技師会への入会手続きやセミナー等の参加申し込み等を行うことができます。日本放射線技師会会員の方は、日本放射線技師会への各種お申し込みや情報等を参照することができます。

JART会員でこのシステムを初めて利用する方はメールアドレス、パスワードの登録が必要となります。お手数ですが次段の再登録より本人確認を行なって下さい。

メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="ログイン"/>	

[操作説明\(動画\)](#)

[パスワードが不明な方はこちらから仮パスワードを取得して下さい。](#)

- ④ はじめて JART 情報システム(JARTIS)をご利用の方へ
- ⑤ ログイン後「生涯学習」→「イベント参加申し込み」→「検索実行」

生涯学習

学習サイトへログイン	学習サイトへのログインはこちらから。
イベント参加申し込み イベント件数:34	こちらでは、セミナー等各種イベントへの参加申し込みを行うことができます。
実績申し込み	こちらでは、著書・著述など、さまざまな生涯学習に関する実績の申し込みが行えます。
技師格認定申し込み	技師格の認定を申込まれる方は、こちらで登録をお願いします。

- ⑥ 本研修は7月31日(土)から申し込み開始です

第1回講習会(サーベイメータ校正)

藤田純二

定期的な線量測定のために、校正された線量計で自施設の線量測定をしましょう。

日時 : 2021年08月07日(土)15:00～

場所 : 総合あんしんセンター (高知市丸の内一丁目7番45号)
2階本会会議室

校正費用 : 10,000円/台 (会員以外 20,000円/台)

電離箱サーベイとシンチレーションサーベイは現場で校正可能です。

GMサーベイメータは、 $\mu\text{Sv/hr}$ を測定するタイプのもの(検出器が小口径)は、現場では校正不可能です。測定器のメーカーによっては、使用方法等がわからないなどの理由により、上手く校正が実施できない場合もあります。(アロカ製はほぼ問題なし)業者さんに持って帰ってもらい、校正できる場合もあります。

校正希望の方は、台数を把握するために、必ず近森病院中村まで連絡をください。

!!ルー エッセー!!

その206 (見田 秀次 : 高知大学病院)

八百川君からバトンを受け取りました、高知大学医学部附属病院の見田秀次です。八百川君は職場の後輩になり、今年度より主任に昇格しMRIとネットワークシステム全般で頑張っています。彼には、これからの更なる活躍を期待しています。

さて私は、令和2年4月に広島からやってきました。それまで高知県は、学会で3度と職員旅行で1度訪れたことがありました。また、学生時代に四国をバイクで1周した際、横に長い県だという印象を持っていました。実際に住んでみて、コロナ下であまり出かけることが出来ていませんが、昨年度は足摺温泉に泊ってみたり仁淀ブルーを堪能したりしてみました。そこでもやはり思うことは「横に広い」です。

話は変わりますが、私は今年度より高知県診療放射線技師会で理事として皆様のお手伝いをさせていただくことになりました。私の経験が少しでも高知県診療放射線技師会のお役に立てるよう頑張っていきたいと思えます。先日、定時総会が開催されましたが、感染患者数の増加により現地およびWeb配信のハイブリッド開催となりました。更に常務理事会には当院のクラスターにより参加することが出来ずご迷惑をおかけしてしまいました。私は現在、中国・四国支部において核医学研究会の代表を務めています。そこでの世話人会議は中国・四国9県と非常に広いため、メールでおこなっていました。しかし近年、Teamsやzoomなど便利なツールが広まったことにより現在はweb会議で行っています。会議のみではなく、先日の夏季学術大会はWeb上でLive開催されました。昨年度から、研

究会等も Web を用いて行っています。意外なことです、参加者数は対面で行っていた時より確実に増加していて、「参加しやすかった」とか「遠方ですが Web なので参加できました」という意見を多く聞きます。高知県は非常に広い県です。高知県だからこそ Web を活用して距離と時間を節約するべきではないかと私は考えます。また、ちょっと遠いとか 1 人では参加しにくい等のハードルを取っ払ってくれます。実は今もスマホで山陰の核医学研究会を視聴しながらこのエッセイを書いています。

面倒くさい奴が広島からやってきたと思われてしまったかもですね。色々と広島弁で口を出すかもしれませんが、いいところだけ聞いてあとは聞き流してください。

次は、私を高知に受け入れてくださった前副会長の伊東技師長にバトンをお渡しします。技師長は私など足元にも及ばないくらいのバイタリティーの持ち主です。それでは、伊東賢二さんにバトンタッチ！

総務報告（令和3年6月30日現在）

1. 高知県の会員数	<u>199</u> 名
2. 令和3年度会費納入者	<u>113</u> 名
賛助会員	<u>6</u> 社
3. 令和2年度会費納入者	<u>5</u> 名
4. 令和3年度新入会員数	<u>3</u> 名
(今月の新入会)	<u>3</u> 名
5. 令和3年度再入会員数	<u>0</u> 名
(今月の再入会)	<u>0</u> 名
6. 令和3年度退会者数	<u>0</u> 名
(今月の退会者)	<u>0</u> 名
7. 令和3年度転出者数	<u>0</u> 名
8. 令和3年度転入者数	<u>1</u> 名
(今月の転入会者)	<u>1</u> 名

(文責編集広報)